

「生き生きと児童の瞳輝き 笑顔あふれる学校づくり」

校長 松本 秀之

開校55年目を迎えた令和4年度。多くの先輩方や保護者・地域の皆様で築き上げてこられた志木第二小学校のすばらしい伝統を受け継ぎ、確実な継承への責任をもって取り組んでまいります。

保護者・地域の皆様のおかれましては、これまでと同様、御理解・御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、令和4年度は、新1年生81名を迎え、全児童数511名、19学級でのスタートです。「生きる力」を育む教育活動に取り組んでまいります。

学校教育目標 進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子

目指す学校像

気持ち良いあいさつ溢れる志木二小

- ・組織力を高め、児童に生きる力をつける学校
- ・保護者、地域住民との連携を図り、地域とともにある学校

(1) 小中一貫教育の更なる推進 (組織力を高め、児童に生きる力をつける)

- ①目指す学校像、子ども像、教師像の志木二中・志木四小との統一
 - ・志木四小と連携を密にし、授業規律や清掃の仕方などを統一し、志木二中に送り出します。
- ②高学年での教科担任制
 - ・国語・道徳・総合的な学習の時間・特別活動を担任が指導し、社会・5年算数・理科・図画工作・体育を5クラスの担任で交換制に、音楽・外国語・家庭科、6年算数を教務の専科制で実施します。

(2) 社会に関かれた教育課程 (保護者、地域住民との連携を図る)

- ①積極的な公開
 - ・土曜参観を実施します。
 - ・「学級通信」を、全学級作成し、各家庭に配布します。
 - ・学校ホームページの充実を図り、学校教育活動を積極的に公開します。
- ②学校運営協議会、学校応援団の活動促進
 - ・2年間に渡る感染症対策により、保護者・地域と学校との距離が離れてしまった今こそ、コミュニティ・スクールを有効活用し、連携を強化します。